

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化の振興				整理番号	119		枝番号				
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2284		昨年度整理番号	120		
係名				上位施策名				No					
予算事業名				文化・交流の推進				コード				12050	
事業開始年度				○ 昭和 ● 平成				年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業	
事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区文化行政推進委員会設置要綱					
区民								(2) 杉並区後援名義の使用承認事務取扱要綱					
								(3) 杉並区・日本フィル相互協力に関する覚書					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				日本フィルとの友好提携事業、アート・コレクション(区民ギャラリーの提供)、学校音楽祭、文化・芸術活動の後援・共催等を通して文化事業の提供・支援を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				地域の中で、区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発になる。	
活動指標名(式)								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 日本フィルとの友好提携事業の実施回数								(1) 日本フィルとの友好提携事業の参加者数					
(2) 後援・共催名義使用承認事業実施件数								(2) 後援・共催により実施した事業の参加者数					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		回	37	34	35	48	34	40	120.0			
	活動指標(2)		件	50	46	50	55	50	50	110.0			
	成果指標(1)		人	10,887	11,753	11,000	12,362	12,000	13,000	95.1			
	成果指標(2)		人	94,371	67,986		73,139	70,000	80,000	91.4			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,138	5,017	14,327	12,615	2,035	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 成果指標(2)の後援・共催により実施した事業の参加者数の減少は杉並公会堂改築等による規模の縮小(荻窪の音楽祭)のためで、件数は増加している。16年度事業費は日本フィル提携10周年記念事業で増額されている。				
	(内)委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.17	1.39	1.50	1.67	1.40					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,627	12,502	13,650	15,197	12,740					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	14,765	17,519	27,977	27,812	14,775					
	単位あたりコスト ÷		円	399,054	515,265	799,343	579,417	434,559					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	14,765	17,519	27,977	27,812	14,775						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	137.1	活動指標(2)の16年度達成率%	110.0	16年度予算執行率%	88.1					
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			16年度は日本フィルとの友好提携10周年にあたり、通年の事業に加えて記念事業を実施した。今後の友好提携事業は、鑑賞機会の提供を中心としたものに加え文化・芸術振興の観点から、音楽のワークショップなど地域還元のための事業を発展させていくことについて日本フィルと協議を続けている。 17年度は、文化人ビデオは制作しない。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成10年度に「杉並区における文化・芸術振興のあり方懇談会」の報告に基づき、文化専管組織として文化・交流課を設置した。平成16年は日本フィル友好提携10周年記念事業を実施したため、友好提携事業は48回実施した。身近な地域で優れた音楽を提供しており、区民にも定着
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	日本フィルとの友好提携事業については、身近なところで優れた音楽に触れる機会ができてよ、という意見が多数寄せられている。小・中学校への出張音楽教室は、生の演奏を聴いた子どもたちの感動の声があふれ、他の区内施設への出張コンサートも好評で要望が多い。
	今後の予測	日本フィルとの友好提携事業は、各種コンサート、公開リハーサル、出張音楽教室と定着してきた。友好提携を生かした新たな区への貢献を日本フィルも模索しており、18年度から新公会堂が主な会場となることを機会に新たな形も協議していきたい。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が身近なところで文化・芸術に触れることができる機会の提供により、文化・芸術の薫り高いまちづくりの一翼を担っており、施策に対する貢献度は高い。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 具体的内容: 日本フィルのリハーサルの公開の回数を増やし音楽に親しむ機会を増やす。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 友好提携事業である公開リハーサル・出張音楽教室は、日本フィルから無償提供、ロビーコンサートは低廉価格で提供されているため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 区が実施している文化事業は無償もしくは、低廉な価格で提供されている。また、その他事業費についても必要最小限のコストで実施しているため、削減の余地はない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 杉並区文化・交流協会(任意団体)と共催して文化事業を行い、会場提供をしている。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 杉並区文化・交流協会事業を共催して行う。
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 公会堂が区立施設でないため、使用料が大幅に必要となる。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区文化・交流協会				整理番号	123		枝番号			
担当部課		区民生活部文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2284		昨年度整理番号	124	
係名				上位施策名				No				
予算事業名				杉並区文化・交流協会		コード	12100		文化・芸術活動の推進		65	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区文化・交流協会補助金交付要綱							
					(2)							
					(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
杉並区文化・交流協会に対し、文化・交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する。				区民の文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、国内外の都市との交流が促進され、区民の文化・芸術活動並びに交流活動が活発に行われることを実現するために、協会が推進役となって機能する。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 区補助金額 / 協会歳入決算額				(1) 協会会員数対前年伸び率								
(2) 協会会員数				(2)								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		%	53	62	59	56	65				
	活動指標(2)		人	1,289	1,359	1,400	1,298	1,350	1,400	92.7		
	成果指標(1)		%	▲ 2.7	5.4	3.0	▲ 4.5	4.0				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	50,873	60,252	65,632	58,114	70,759	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 17年度事業費増は、職員1名減による協会雇用職員増他。			
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	8.24	8.43	8.40	8.63	7.32				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	74,844	75,819	76,440	78,533			66,612	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +		千円	125,717	136,071	142,072	136,647	137,371				
	単位あたりコスト ÷		円	2,372,019	2,194,694	2,408,000	2,440,125	2,113,400				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	125,717	136,071	142,072	136,647	137,371					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		94.9	活動指標(2)の16年度達成率%		92.7	16年度予算執行率%		88.5		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区文化振興協会と財団法人国際交流協会が統合し、平成12年度から杉並区文化・交流協会として事業展開をしている。区は運営のための補助金を交付している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	身近なところで低廉な料金で、優れた文化・芸術に触れることができる機会がほしい。また、異文化を理解し人と人とのふれあいも体験できる交流の機会を拡充してほしい。
	今後の予測	文化・芸術活動や交流活動を実施している民間団体・NPO法人等が多くあり、多様な文化・交流事業が提供されている。こうした中で、協会として実施する事業を精査していくことが必要であるため、補助金についても見直すことが予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区からの補助金により、協会の事業は円滑に行われており、区民の文化・交流活動に寄与している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 協会事業は低廉な価格で優れた文化・芸術の提供や交流の支援を行っているが、近年負担額は据え置きにしているため、負担額を見直しすることも可能と思われる。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容: 文化・交流協会の組織体制と事業の見直しを行う。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 情報誌の編集・印刷を委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: HPを充実させ、区民や団体が掲示板の書き込みができるものにするため、HPの運営管理を委託する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並区文化・交流協会は18年度に、文化と交流の組織を分離する予定である。事業についても見直しを行ない、コスト減にする方向で検討をすすめている。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 事業を精査する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化財保護審議会運営				整理番号	787		枝番号						
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710		連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	811				
係名		文化財係				上位施策名			No						
予算事業名		文化財調査・保護		コード	81400		文化・芸術活動の推進			65					
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		57年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 文化財保護法										
	区内の有形・無形の文化財		(2) 杉並区文化財保護条例												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		(3)												
教育委員会の諮問に応じ、文化財の保護・活用について、調査・審議及び建議をする。 審議会委員 現員9名		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）							区の文化財として指定・登録することにより、文化財の保護と活用が適切に行われるようにする。 専門家の立場から、区の文化財行政に関し、適切な助言・建議を貰う。						
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標													
(1) 文化財保護審議会の開催数		(1) 審議会成立回数 ÷ 審議会開催予定回数													
(2) 審議会での審議件数		(2) 審議会答申・建議件数 ÷ 審議会諮問件数													
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		回	9		10		8		6		6	8	75.0	
	活動指標(2)		件	3		4		3		3		3	5	60.0	
	成果指標(1)		%	100		125		100		100		100	100	100.0	
	成果指標(2)		%	100		125		100		100		100	166	60.2	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	576		732		864		432		864		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円												
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.42	0.50	0.31	0.75	0.31	0.60	0.30	0.10	0.30	0.10		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,815		2,788		2,821		2,730		2,730		
		非常勤職員分		千円	1,468		2,069		1,728		288		288		
	総事業費 ++		千円	5,859		5,589		5,413		3,450		3,882			
	単位あたりコスト ÷		円	651,000		558,900		676,625		575,000		647,000			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	5,859		5,589		5,413		3,450		3,882				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		75.0		活動指標(2)の16年度達成率%		100.0		16年度予算執行率%		50.0			
		16年度は計画を下回る審議会開催であったが、指定登録文化財の選定・決定等の審議が、速やかに進行したためであると考えられる。													
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		16年度と同様に、審議会自体を効率的に開催し、少ない回数でより成果が上がる運営を行うよう努める。 また、区からの諮問内容だけでなく、文化財行政に対して、より積極的な意見、建議などをいただけるよう促していく。													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	文化財保護審議会は、昭和57年の発足以来、毎年、区の指定登録文化財の調査・審議を行っており、現在、122件の文化財を登録し、そのうち72件を区指定文化財としてきた。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史・文化への区民の関心は高まっており、文化財保護審議会に対する区民の期待も高まっている。
	今後の予測	区民の文化財に対する関心の高まりもあり、文化財の指定登録だけでなく、文化財保護行政全般に対する答申・建議等が増えていくことが期待される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高度な専門的能力・知識を有する審議会委員が文化財について調査・審議することにより、区の伝統的な文化資源が適切に保護・継承されて、質の高い文化財保護行政の遂行が期待できるため
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 人件費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 審議会委員は現在、定員12名以内のところ9名で構成している。記念物等の自然系の専門家が存在せず、指定・登録物件に偏りがみられる。より広い視野で文化財選定を行い成果を向上させるには委員の人数(分野)を増やす必要がある。 理由または具体的内容: 成果向上のためには、審議会委員を増員し、記念物等の自然系の専門家なども入れ、より広い視野で文化財選定を行うと同時に、広い視野から区の文化財行政に必要な助言等を貰うことが必要である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について教育委員会に建議する。 具体的には ア 区文化財の登録・指定及びこれらの解除。イ 区登録・指定無形文化財の保持者又は保持団体の認定・解除等。ウ その他
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 区の文化財についての調査・審議であるので、区が中心となる必要があるが、高度な専門的知識を必要とする内容であるため、現状の形態がもっとも望ましい。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より広い視野で文化財の選定を行い成果を向上させるには記念物などの自然系の専門家も招聘し、委員の人数を増やし分野を多様化する必要がある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委員の人数を増やすためには、それだけ予算増が見込まれる。また、杉並区の状況に詳しい各分野の専門家が少ない。そして、委員の高齢化が進んでおり、これについては、委員の定年制も視野に入れて検討したい。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	早期の委員増員の実現は困難な状況であり、現行の体制で運営していくのが妥当であるため。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化財保護の啓発				整理番号	788		枝番号			
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710		連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	812-1	
係名		文化財係				上位施策名				No		
予算事業名		文化財調査・保護		コード	81400		文化・芸術活動の推進				65	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区文化財保護条例							
	区民一般		(2)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(3)									
	文化財保護指導員を各地域に配置し、区内文化財・案内標示板等の見回り、区民へ文化財保護思想の普及や、文化財所有者への助言などを行い、文化財が適正に保護されるようにしていく。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
文化財保護指導員を各地域に配置し、区内文化財・案内標示板等の見回り、区民へ文化財保護思想の普及や、文化財所有者への助言などを行い、文化財が適正に保護されるようにしていく。		文化財保護指導員等を各地域に配置し、区内文化財・案内標示板等の見回り、区民へ文化財保護思想の普及や、文化財所有者への助言などを行い、文化財が適正に保護されるようにしていく。										
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 文化財保護指導員の現人数		(1) 文化財指導員の現人数 ÷ 指導員の規定定員数										
(2) 文化財保護指導員からの報告件数		(2) 指導員からの報告件数 ÷ 指導員数										
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		人	7	7	6	6	6	6	100.0		
	活動指標(2)		件	1	2	6	2	6	6	33.3		
	成果指標(1)		%	35	35	30	28	28	28	100.0		
	成果指標(2)		%	14	29	100	33	100	100	33.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	235	235	274	202	274	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30 0.10	0.20 0.10	0.60 0.20	0.80 0.30	0.80 0.30				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,725	1,799	5,460	7,280	7,280			
		非常勤職員分		千円	294	276	576	864	864			
	総事業費 + +		千円	3,254	2,310	6,310	8,346	8,418				
	単位あたりコスト ÷		円	464,857	330,000	1,051,667	1,391,000	1,403,000				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	3,254	2,310	6,310	8,346	8,418					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	33.3	16年度予算執行率%	73.7	区民との協働が進む中、高齢化し減少した保護指導員に代わるものとして、16年度中に文化財保護ボランティア制度を立ち上げる計画であったが、条件整備などが進まず、文化財ボランティア制度が立ち上げられなかったため、文化財ボランティアにかかる予算は未執行となった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区民との協働が推進される中で、文化財保護指導員の業務の内、文化財及び案内標示板などの見回り、区民への啓蒙活動については、区民ボランティアにシフトしていく方向で、16年度には社会教育センターのコミュニティ・カレッジの事業の中でボランティア養成講座を行った。この修了生希望者により17年度中に文化財ボランティア制度を立ち上げるべく、要綱制定等の条件整備を進めている。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初21名いた指導員は、地域の古いことを知っている方々を任命しているため、高齢化などにより減少し、その補充もままならない状況である。区民との協働が推進される中で、文化財(標示板等含む)の見回りや、区民への啓発活動などはボランティア活動として位置付けるべき状況にある。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	文化財に対する区民の興味関心は高まっており、事業を積極的に進めることで、ますます区民の文化財保護に対する関心が高まると想定できる。
	今後の予測	現在任命している保護指導員も高齢化が進み、このままでは指導員制度が機能しなくなる可能性が大である。しかし、文化財に興味を持ち、自ら守っていききたいという意識と向上心のある文化財保護ボランティアを養成し、そのボランティアと協働することで、文化財保護思想の普及活動は拡大できると予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由:地域の歴史を知る指導員にふさわしい人が減り、その指導員も高齢化しているため、望ましい状況から考えて、現状では指導員制度の機能が十分に発揮できていない。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:文化財保護指導員の業務の内、指導・助言など高度な知識を必要とする部分を除き、指導員の機能を区民ボランティアにシフトしていく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:新規にボランティア制度を導入するため、必要最小限のコストは増える。しかしそれによってコストパフォーマンスの高い効果が期待できる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由:今年度中に制度を整え、区民による文化財ボランティアの組織・活動を開始する。 理由または具体的内容:区民有志による文化財保護ボランティアを組織し、区民と行政のギブ・アンド・テイクの関係を保ちながら、文化財保護思想の普及を行っていく。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(へ) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 今年度中に制度を整え、区民による文化財ボランティアの組織・活動を開始する。 区とボランティアはギブ・アンド・テイクの関係を保ちながら、文化財保護思想の普及を行っていくことが望ましい。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 16年度中にボランティアの養成を行うことができたので、早急にボランティア組織を立ち上げ、指導員との役割分担を行いながら、ボランティアには、文化財や案内標示板等の見回り、区民への普及活動を担当してもらい、指導員には文化財所有者等への指導助言および文化財ボランティアの相談役として機能させていく。また、将来的にボランティア自身の研鑽などにより、ボランティアに実力がつけば、ボランティアの中から指導員を指名し、ボランティアに全て移行していくことを視野に入れて考える。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ボランティアとの協働を行っていくにあたり、まだ未知の領域であるため、どのような障害があるのか不明だが、話し合いなどできちんと役割分担などを整理しながら行政と区民ボランティアとの役割分担を明確にし、事業を進めていく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成16年度にコミュニティ・カレッジで文化財保護ボランティア養成講座を実施し、そのうち十数名が文化財保護ボランティアに名乗りをあげてくれている。今後の文化財保護行政の中でどれだけ協働してやっていけるかは、今後の課題である。また、17年度コミカレの制度が変わったため、今後のボランティア養成講座は独自で行う必要があり、そのための経費が増となる。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		出版物・標示板等の作成				整理番号	789		枝番号			
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710		連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	812-2	
係名					文化財係			上位施策名		No		
予算事業名					文化財調査・保護			コード		81400	文化・芸術活動の推進	65
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		53 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区文化財保護条例 (2) (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区内の文化財を周知するため、文化財についての冊子を刊行し、また文化財等の所在地に案内標示板や標柱を設置し、文化財保護の啓発を行う。							
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 文化財を保護・継承するため、文化財の意義や特徴について、区民に周知する。							
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 文化財関係出版物の発行部数 (2) 文化財案内標示板・標柱の設置件数								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		部	500	3,000	1,000	1,000	4,000	3,000	33.3		
	活動指標(2)		基	5	5	4	2	2	3	66.7		
	成果指標(1)		%	100	300	100	100	100	100	100.0		
	成果指標(2)		%	167	125	100	100	100	100	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,391	1,782	1,359	1,122	2,849	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	975	669	882	645	482				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.83 1.00	0.75 0.50	0.75 0.30	0.60 0.30	0.70 0.50				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	16,622	6,746	6,825	5,460	6,370				
		非常勤職員分	千円	2,935	1,380	864	864	1,440				
	総事業費 ++		千円	20,948	9,908	9,048	7,446	10,659				
	単位あたりコスト ÷		円	41,896	3,303	9,048	7,446	2,665				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	20,948	9,908	9,048	7,446	10,659					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		50.0	16年度予算執行率%	82.6			
		15年度の指定状況から建てるべき指定文化財標柱は2本となった。16年度は、土地所有者の依頼による標示板の移動などもあり、新規の標示板設置はできなかった。										
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		16年度については、標柱・標示板の設置及び出版事業は計画どおり行った。17年度は、16年度の文化財指定状況から新たに設置する標柱はなく、案内標示板の設置及び改修が中心となる。また、出版事業については、「17年度の指定文化財」及び「史跡散歩地図」の刊行の外、新たな文化財シリーズの刊行が認められたため、大幅な予算増となっている。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和45年、「文化財シリーズ」を刊行して以降、区が新たに指定登録した文化財を解説した「杉並区の指定登録文化財」や「文化財保護の手引き」、「杉並区歴史散歩地図」等を随時刊行している。また、昭和53年から平成16年度末までに、文化財の所在地に文化財案内標示板を150基、標柱を52基設置している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史や文化への区民の関心は強い。したがって、本事業に対する区民の期待は高まっている。こうした中で、文化財案内標示板・標柱が風化・劣化し内容が読めないとの苦情が何件か入っている。
	今後の予測	毎年3～4件の文化財の指定登録が行われるため、今後もこのペースでの標柱の設置が予測される。標示板については、風化して読めなくなった標示板の盤面改修を優先的に行っていく。「杉並区の指定登録文化財」は、今後も、毎年刊行していく。また、その他の刊行物も計画的に刊行したい。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の文化財を区民に周知することにより、区民の文化財に対する関心を高めている。したがって、施策への貢献度は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 内容を吟味し、より区民が利用しやすい冊子の刊行、標示板の文面の検討をしていく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 「文化財シリーズ」はすでに有償頒布であり、また区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: 「埋蔵文化財保護の手引き」は、地図上に正確に朱引きする必要があったため、印刷を外注していたが、庁内印刷の能力向上により、庁内印刷でまかなうことが可能になった。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 基本的に区の文化財保護についての啓発や情報提供であるため、区が行う必要があり、協働にはなじまない。但し、劣化した標示板等の巡回・確認などはボランティアに依頼することは可能であり、その方向ですすめる。 理由または具体的内容: 基本的に区の文化財保護についての啓発や情報提供であるため、区が行う必要があり、協働して行うことにはなじまない。但し、劣化した標示板等の修理等のための巡回・確認などはボランティアに依頼することは可能であり、その方向ですすめている。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 劣化した標示板等の修理等のための巡回・確認などはボランティアに依頼することは可能であり、その方向ですすめている。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区の文化財・埋蔵文化財を紹介・解説する各種刊行物の発行部数について精査し、最適な部数を追及する。 今後設置・改修する文化財案内標示板・標柱の規格(品質・材質)等に統一性を持たせ、区民が見やすい文化財案内標示板・標柱の設置・改修に努める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区の文化財・埋蔵文化財を紹介・解説する各種刊行物の発行部数については、直ちに捉えがたい側面もあるが、配布先等を精査して、最適な部数を追及していく。 文化財案内標示板・標柱は、現在でも低価格で契約しているため、これ以上のコスト低減が可能か否か困難な側面が強いが、より低コストで対応できるよう素材や技術面も含めて検討していく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	史跡散歩地図などの印刷が18年度は不要と見込まれるため、その分の経費は減となる。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指定登録文化財保護奨励金				整理番号	790		枝番号		
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710	連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	813	
係名					文化財係			上位施策名		No	
予算事業名					文化財調査・保護		コード	81400		文化・芸術活動の推進	65
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		58年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区文化財保護条例 (2) 杉並区文化財保護奨励金交付要綱 (3)				
	杉並区指定・登録文化財の所有者・保持団体等										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）						
	杉並区指定・登録文化財の保護を奨励するため、その所有者・保持団体等に対して、奨励金を交付する。				杉並区指定登録文化財の所有者に対して奨励金を交付することにより、準公共財産である文化財の保護のための費用を一部区が負担すると同時に、文化財保護の意識を高めさせる。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 文化財保護奨励金の支出件数				(1) 支出件数の前年度比							
(2) 文化財保護奨励金の支出金額				(2) 支出金額の前年度比							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		件	97	100	103	103	103	110	93.6	
	活動指標(2)		円	1,550,000	1,572,500	1,610,000	1,607,500	1,610,000	1,800,000	89.3	
	成果指標(1)		%	103	103	103	100	100	103	97.1	
	成果指標(2)		%	102	101	102	100	100	103	97.1	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,550	1,573	1,610	1,608	1,610	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.42 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,815	1,799	1,820	2,730	2,730			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	5,365	3,372	3,430	4,338	4,340			
	単位あたりコスト ÷		円	55,309	33,720	33,301	42,117	42,136			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	5,365	3,372	3,430	4,338	4,340				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	99.8	16年度予算執行率%	99.9	予定どおりの支出件数であった。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度も従来どおりの支出を行なう。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区の文化財保護制度が始まって以来、指定登録文化財は年々増えており、それに伴い支出件数及び金額は年々微増している。このため、平成12年度に一度交付金の支出額の見直しを行い、支出金額の総価を下げたが、そこからまた微増している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	奨励金の交付は、所有者に歓迎されており、これにより文化財保護の意識は高まっている。また、文化財保護の経費として使用されているため、指定登録物件の保護にも役立っている。
	今後の予測	16年度の指定登録文化財は、区所有物の指定が2件、追加指定が2件のため、17年度については奨励金支出額の増は無いが、例年、3～4件の文化財指定登録が行われており、今後も例年どおりのペースで推移するものと予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 奨励金を交付することにより、所有者の文化財保護に対する高い意識が保持されている。また、準公共財産である文化財の保護のために費用を区で賄うことは区の責務である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 補助金単価の減額だけでなく制度自体を見直し、一律の単価で交付するのではなく必要に応じた奨励金の交付を行うことにより、文化財の保護をより確実にしていくことは可能と考える。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区指定登録文化財の所有者等は、当該文化財に対する管理義務等の制約を受けるため、受益者とは言いがたく、受益率の測定も困難である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 軽微な修理・保存措置など、必要に応じた奨励金の交付と並行して行わなければ、ただの経費削減と見られ、文化財所有者や区民の信用を損ねる可能性がある。現行の予算を有効に活用し、積極的な文化財保護の奨励を行うことが必要。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 区の指定登録文化財は、準公共財産であり、これを保護・継承することであるから、区が奨励金を支出する必要がある。奨励金は、区登録・指定文化財の所有者・保持者・保持団体で当該文化財の保護・保存又は公開等の活動を行った者に対して交付しているため、文化財所有者は、それぞれの文化財保護のために奨励金を有効に活用している。 金額については、個々の文化財によって別に定めている。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 区の指定登録文化財は、準公共財産であり、これを保護・継承することであるから、区が奨励金を支出する必要がある。所有者はその意図を理解し、文化財保護に努めているため、現在の協働関係がもっとも望ましい関係である。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 17年度に要綱改正と併せて奨励金制度を見直し、奨励金を一律交付するのではなく必要に応じて交付する制度に変革する。指定文化財等補助の事業とリンクさせていくことにより、文化財保護の意識を維持すると同時に、早期の劣化防止、保存処理が行えれば、指定文化財補助の経費を軽減することが可能である。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 奨励金制度自体の見直しとなるため、文化財所有者などの理解を得ながら、慎重に行っていく必要がある。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 必要に応じて保存処理や劣化防止を行う所有者に適正に交付していく必要がある。区民の文化財保護の意識の低下や、文化財所有者等の信用を損ねることのないよう、現行の予算を有効に活用し、積極的かつ有効な文化財保護の奨励を行うことが必要。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		郷土芸能大会				整理番号	791		枝番号									
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710		連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	814							
係名					文化財係					上位施策名		No						
予算事業名					文化財調査・保護					コード		81400						
										文化・芸術活動の推進		65						
事業開始年度					●昭和 ○平成		59年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業									
事業の種類					<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等											
対象					<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区文化財保護条例 (2) 杉並区文化財保護条例施行規則 (3)											
一般区民																		
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					杉並郷土芸能保存会及び杉並郷土史会のそれぞれが主催する杉並郷土芸能大会及び史跡散歩に対し、それぞれ共催分担当金を交付し、区の郷土芸能及び史跡等が区民になじみあるものとなるような機会をつくる。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 古くから杉並の各地域に伝承されている無形民俗文化財等の郷土芸能を、区民に無料公開することにより、無形文化財に対する区民の興味・関心を高め、伝統芸能の保存団体には発表の場を保障することで、郷土芸能存続の一助とする。また、史跡散歩事業をとおり、区内の歴史や自然を学ぶ一助とする。								
活動指標名(式)					(1) 郷土芸能大会の入場者数 (2) 郷土芸能大会参加団体の会員数					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 郷土芸能大会の入場者数 ÷ 杉並区民人口 (2) 郷土芸能大会参加団体の会員総数の前年度比								
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度計画		16年度実績		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%					
指標	活動指標(1)		人	213	187	568	230	568	600	38.3								
	活動指標(2)		人	243	243	250	243	250	300	81.0								
	成果指標(1)		%	0.04	0.03	0.11	0.04	0.11	0.10	40.0								
	成果指標(2)		%	97	100	103	100	103	110	90.9								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	428	428	428	428	428	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)									
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.41	0.00	0.52	0.00	0.52						0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,724	4,677	4,732	4,550						4,550				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0						0				
	総事業費 ++		千円	4,152	5,105	5,160	4,978	4,978										
	単位あたりコスト ÷		円	19,493	27,299	9,085	21,643	8,764										
	財源	受益者負担分		千円														
		国・都等からの支出金		千円														
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0						0				
差引:一般財源 -		千円	4,152	5,105	5,160	4,978	4,978											
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%		40.5	活動指標(2)の16年度達成率%		97.2	16年度予算執行率%		100.0							
			従来どおり、計画どおりの執行をした。															
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			郷土芸能大会はPR活動をより積極的に行い、入場者数の増加を図る。															

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	郷土芸能大会は昭和59年度の第1回大会開催以来、毎年1回(ただし、昭和60年度は、未実施)、一般区民に無料で公開している。また、史跡散歩事業は東京都の文化財ウィーク事業の中で取り組んできた事業で平成10年(第1回文化財ウィーク事業)から毎年度実施している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	郷土の伝統芸能が継承されていることに対して、「感嘆した」、「感動した」等の声が多く聞かれた。また、史跡散歩事業については、年に3～4回実施してほしいという声がある。
	今後の予測	郷土芸能大会に参加する団体は後継者難もあるが、小・中学生の新たな参加もあり、杉並の郷土芸能は着実に継承されていくと予測される。また、史跡散歩事業も毎年実施していく必要があると思われる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:郷土の伝統芸能を、年1回、区民に無料で公開することにより、区民の郷土芸能に対する関心を高めている。また、史跡散歩事業は参加希望者が非常に多い。したがって、施策への貢献度は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: ポスター等で事業の周知を図っているが、人の口から人の耳へのより強い働きかけをしていく。 各学校で公演等を実施することを計り促進し、郷土芸能が子どもたちにより身近な存在となるようにしていく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:郷土芸能大会開催に伴う主催者(杉並郷土芸能保存会)の時間的・経済的負担が大きく、受益者とは言いがたい。また、受益率の測定も困難である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:郷土芸能の公開に際して、出演者や上演時間を圧縮することは不可能であり、コスト削減は困難である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:区との共催事業であり、区では共催分担金を支出している。また、職員も準備段階から参加している。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 協働等の現状に同じ

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 郷土芸能大会においては、PR活動の方法をより多様化し、入場者数の増加をめざす。実演者としての子どもの参加増をめざす。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ポスター・プログラム・区の広報掲載等周知用媒体の活用は勿論であるが、口から耳への口コミの実行が入場者増へのカギを握っている。 学校教育の場においても、郷土芸能に関する取り組みを導入する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 毎年、同規模での実施を考えているため。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指定登録候補等調査委託				整理番号	792		枝番号						
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710		連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	815				
係名		文化財係				上位施策名				No					
予算事業名		文化財調査・保護		コード	81400		文化・芸術活動の推進				65				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 文化財保護法 (2) 杉並区文化財保護条例 (3)										
	区内の有形・無形の文化財		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内の指定登録文化財候補物件の調査を行い、文化財保護審議会で審議するための材料を調える。												
	活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標												
		(1) 文化財調査委託の件数		(1) 文化財調査委託の件数 ÷ 指定登録候補物件数											
		(2)		(2)											
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		件	5		3		4		5		3	4	125.0	
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	167		100		133		167		100	135	123.7	
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	400		300		400		400		400		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	400		300		400		400		400			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.51	0.50	0.52	0.50	0.85	0.70	0.85	1.00	0.85	0.80		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,632		4,677		7,735		7,735		7,735			
		非常勤職員分	千円	1,468		1,380		2,016		2,880		2,304			
	総事業費 ++		千円	6,500		6,357		10,151		11,015		10,439			
	単位あたりコスト ÷		円	1,300,000		2,119,000		2,537,750		2,203,000		3,479,667			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	6,500		6,357		10,151		11,015		10,439				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		125.0		活動指標(2)の16年度達成率%				16年度予算執行率%		100.0			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		文化財の指定登録を判断するのに必要な調査作成のための調査委託であり、今年度は1件に対して1つずつの調査委託を行うと同時に、有形民俗文化財の候補物件については、実測図の作成委託を行った。													
		文化財の指定登録を判断するのに必要な調査作成のための調査委託であるため、区が文化財の指定登録を行う限り必要不可欠な業務である。高度の専門的知識を有する学識経験者への調査委託のため、コスト削減は難しいが、より効果的で、きめの細かい調査ができるよう検討を進めていくと同時に、職員やボランティアで対応できる部分は、職員等が行うことにより委託料を下げる努力をする。また、次年度以降の指定登録を円滑に行うための事前の予備調査も予算の範囲内で行っていく工夫をする。													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和57年の杉並区文化財保護条例制定以来、区の指定登録候補について、高度な専門的知識を有する学識経験者に調査を委託している。また、候補物件によっては、多面的な調査が必要になるため、必要に応じて1つの物件に対して2件以上の調査委託を行い、より多角的かつ詳細なデータを残している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史・文化に対する区民の関心の高まりに伴い、区の指定登録文化財への区民の関心も高まっている。
	今後の予測	区の指定登録文化財は、ここ数年、毎年3～4件ずつ増加している。今後もこのペースで推移するものと予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高度の専門的知識を有する学識経験者による文化財調査は、区の文化財保護・活用に不可欠である。したがって、施策への貢献度は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: より効果的で、きめの細かい調査ができるよう検討を進め、職員やボランティアで対応できる部分は、職員等が行うことにより委託料を下げる努力をする。また、次年度以降の指定登録を円滑に行うための事前の予備調査も予算の範囲内で行っていく工夫をする。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 委託先は、高度の専門的知識を有する学識経験者であり、調査の水準を落とすことはできない。したがって、コストの低減を図ることは、困難な側面が強い。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	理由: 区の指定登録文化財にすることを前提とした調査委託である。したがって、区が行う必要がある。但し、ボランティアや職員が調査補助を行うことで、受託者の負担を軽くし、調査費を多少削減できる可能性はある。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 従来の文化財調査の水準を落とさず、より効果的で、きめの細かい調査は可能なのか、検討を進める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 高度の専門的知識を有する学識経験者への文化財調査委託であるため、コスト低減は困難な側面が強いが、より効果的で、きめの細かい調査はどのようにしたら可能なのか、検討を進めていく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	指定登録候補等調査委託費は、単価・件数とも、変更を予定していないため。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		埋蔵文化財調査				整理番号	793		枝番号				
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600710		連絡先電話番号	1666		昨年度整理番号	816		
係名				文化財係				上位施策名		No			
予算事業名				文化財調査・保護				コード	81400		文化・芸術活動の推進		65
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		43年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 文化財保護法 (2) 杉並区文化財保護条例 (3)						
	区内埋蔵文化財				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区内で行われる開発等行為に関して、埋蔵文化財の適正な保存処置が行われるように指導し、埋蔵文化財保存・記録し、活用する。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 埋蔵文化財包蔵地問合せ件数				(1) 埋蔵文化財包蔵地問合せ件数の前年度増減比									
(2) 埋蔵文化財立会い・試掘調査及び本調査件数				(2) 埋蔵文化財立会い・試掘調査及び本調査件数の前年度増減比									
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)		件	3,449	4,890	4,890	5,484	5,484	5,500	99.7			
	活動指標(2)		件	26	56	56	62	62	70	88.6			
	成果指標(1)		%	128	142	100	112	100	110	101.8			
	成果指標(2)		%	70	215	100	110	100	110	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	2,000	880	2,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	0	0	2,000	880	2,000					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.60	0.80	0.20	1.00	0.20	1.50	0.15	1.50	0.15	1.50
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,450	1,799	1,820	1,365	1,365				
		非常勤職員分		千円	2,348	2,759	4,320	4,320	4,320				
	総事業費 ++		千円	7,798	4,558	8,140	6,565	7,685					
	単位あたりコスト ÷		円	2,261	932	1,665	1,197	1,401					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円			1,500	660					
		特定財源計 +		千円	0	0	1,500	660	0				
差引:一般財源 -		千円	7,798	4,558	6,640	5,905	7,685						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	112.1	活動指標(2)の16年度達成率%	110.7	16年度予算執行率%	44.0					
この事業は、個人の専用住宅建設時の発掘調査や埋蔵文化財包蔵地範囲確認のための分布調査委託であり、今年度は個人住宅に関する発掘調査2件、分布調査1軒の調査委託を行なった。予算未達理由としては、実施件数が見込み調査件数を下まわったため。													
前年度と同様の計画で行なうが、分布調査も含めより多くの案件を取り扱っていく必要がある。また、今後事業数増加が見込めるが、発掘調査前の現地下調べを徹底したうえで調査を計画することにより、個々の調査経費の節約が可能である。また、このことは調査成果の向上にも繋がるため、今後とも、調査方法の検討を含めて効果的に予算を執行できるように図る。													
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和43年に埋蔵文化財行政が始まった当初から埋蔵文化財の発掘調査は行われている。昨年度より、これまで実現が難しかった小規模開発に伴う調査も区ができるようになった。また係内OJTの結果、埋文担当職員だけでなく全係員で窓口への膨大な問合せに適切に対応できるようになった。建築確認のルートに埋文確認を載せてもらえたため、窓口への問合せ件数が増加し、立会い及び発掘調査件数は引き続き増加傾向にある。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	16年度から国及び都の補助金を活用することで個人の専用住宅等小規模開発の調査を区が対応することが可能となり、埋蔵文化財がより一層適正に記録できるようになった。係内OJTによる職員の能力向上によって窓口での問合せに適正に対応できている。これらのことが区民の信頼につながり、調査件数の増加などに現れているといえる。
	今後の予測	窓口での埋蔵文化財包蔵地問合せ件数は引き続き増加傾向にあり、今後も増加すると予測される。建築工事などに伴う立会い件数は問合せ件数に比例して増加し、区による試掘・本調査件数も小規模開発に伴う調査が、問合せ件数に比例して増加することが予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 本事業は文化財保護法により地方自治体の業務として規定されているものであり、これがなければ埋蔵文化財保護は保たれない。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 区内遺跡発掘調査事業費は前年度より施行され始めたばかりであり、実施方法に改善の余地がある。調査前の現地下調べを徹底することにより成果向上を図ることができる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 埋蔵文化財は国民共有の財産であり、その意味で受益者は国民全体であり、個別の受益者を特定することはできない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 前年度予算は未達だが、窓口問合せ件数の増加に伴って当該事業数の増加が見込め、事業費増も予測されるが、事業効率を上げ1件の調査経費を抑えることは可能である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 区は、建設・建築事業に際しての埋蔵文化財包蔵地の確認等の窓口対応を行い、現場での発掘調査の監督・指導を行う。発掘調査及び報告書作成業務は、専門知識及び特殊作業が必要であるため、業務は調査団を組織し実施するか、軽微なものについては区の指導下で民間の埋蔵文化財発掘調査支援会社に業務委託する。(区内での発掘調査については、文化財保護審議会が認めたものを団長とした調査団形式で行うという建議が文化財保護
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 文化財保護法で、地方自治体の事務として規定されているものであり、判断の伴う業務は区が直接行う必要があるが、発掘調査業務については、長期にわたって専任する必要があるため、区独自の調査等は現状では不可能である。発掘調査は、専門知識及び特殊作業が必要のため、調査団が行うか、もしくは区の指導下で民間発掘調査支援会社に委託する現行の形態がもっとも望ましい。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 本事業費は平成16年度より計上されたものであり、平成16年度の実績としては予算未達に終わっている。しかしながら、本事業が対象とする案件は個人が事業主である個人の専用住宅建設に関する発掘調査事業を主としており、事業への潜在的な要求は膨大な数が見込める。従って、今後の区内での開発事業の増加傾向を見据えながら、事業の計画・実施・成果の見直し等を繰り返すことにより、効率化を図る必要がある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在当該事業に対しては、事業費の75%が国及び都の補助金であるが、国及び都の財政事情が厳しい折、万が一この補助金が無くなった場合、区としてこれまでどおりのサービスが可能なのか否かという点で不安定材料が残る。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 本事業費は小規模開発に伴って区が直接行なう発掘調査に対して平成16年度より計上されたものであり、この部分に関しては平成16年度の実績から平成18年度についても現行のまま事業を推進していく。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化活動				整理番号	816		枝番号		
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		コード	600716	連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	839	
係名					社会教育センター			上位施策名		No	
予算事業名					文化活動			コード		82000	
					文化・芸術活動の推進					65	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		年度				
	事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 社会教育法第3条、第5条第1号・第7号・第11号・第15号 (2) 社会教育センター及び社会教育会館条例 (3) ユネスコ活動に関する法律				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）						
	総合文化祭の開催や文化団体の活動支援により区民の文化活動を振興する。また、杉並ユネスコ協会との共催等により、青少年や成人を対象としたユネスコ事業を実施する。				区民文化の創造や芸術に親しむ機会を広げる。又、日常生活の中にユネスコ平和思想を取り入れて、国際理解を深めて平和の文化を広げていく。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 総合文化祭の延べ来場者数				(1) 総合文化祭延べ来場者数 ÷ 会場延べ定員							
(2) 事業実施回数				(2) ユネスコ活動参加人数							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	12,715	17,097	20,000	16,883	20,000	20,000	84.4	
	活動指標(2)		回	38	38	25	21	20	20	105.0	
	成果指標(1)		%	118	158	100	156	100	100	156.0	
	成果指標(2)		人	1,106	1,069	700	866	700	700	123.7	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,222	5,225	5,340	5,332	5,350	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標及び成果指標の数値は、15年度までは杉並ユネスコ協会の自主事業分も含めていたが、評価対象事務事業分類の更正(15年度社会教育団体事業活動助成)を行ったことから16年度より計上しないこととした。		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人		1.70 0.20	0.82 0.50	1.35 0.34	1.17 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	15,290	7,462	12,285			10,647
		非常勤職員分		千円	0	552	1,440	979			0
	総事業費 ++		千円	5,222	21,067	14,242	18,596	15,997			
	単位あたりコスト ÷		円	411	1,232	712	1,101	800			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	5,222	21,067	14,242	18,596	15,997				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	84.4	活動指標(2)の16年度達成率%	84.0	16年度予算執行率%	99.9	ほぼ計画通り実施された。		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			区民の参加による「区民文化の日」を実施するとともに、区内のプロ作家による「美術作品展」を実施し区民芸術に親しむ機会を提供した。又、ユネスコ活動では学校の求めに応じ、総合学習や部活動において「国際理解教育」「平和教育」を行った。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和26年から「杉並区民文化祭」を開催している。平成10年に文化交流協会が設立され、それぞれの役割分担で事業を行っている。ユネスコ活動に関しては、近年世界各地で国際紛争が続く中、国境を越えた人々の交流により平和への取組みを構築することは益々必要となっている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	総合文化祭や文化団体連合会の運営を様々なジャンルに、より開かれたものとしていくことが求められている。学校教育での杉並ユネスコ協会への協力要請が増加している。
	今後の予測	総合文化祭のあり方について、全杉並区民の文化芸術の振興との関係でその意義や実施方法等が再検討されるべき時期が到来している。ユネスコ活動に関しては、より期待が大きくなっており、関連機関との直接的・間接的な事業協力は増加するものと予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	文化団体と協働で事業実施することにより文化芸術活動の推進に協力している。また、平和都市宣言を行っている当区において、ユネスコ精神の普及啓発を通して平和を積極的に希求する意義は大きい。その中でも青年部の事業への取組みについては、他のユネスコ団体からの注目を集めている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:文化団体に限らない幅広い区民の参画により総合文化祭を開催していく。また、関係機関と杉並ユネスコ協会との連携を深めることでより充実したユネスコ活動を展開できる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:必要な部分については、既に受益者負担が実施されている。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:文化祭等の実施に伴う補助金等については既に見直しを行っている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 各社会教育団体と区がそれぞれの役割を担いつつ、実施している。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 事業実施の主体はあくまでも民間市民組織であり、区は事業の補助的役割を担う。

ふ

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 文化団体との協働により文化交流協会とも連携を取りながら、多角的な事業の発展を図っていく必要がある。その際、あくまでも区は補助的役割に徹し、各団体が独自で事業実施できうる能力をつけられるよう自立を促しながら育成していくことが重要である。ユネスコ活動については、協会理事・青年部が中心となってより活発な活動を行っている。今後も引き続き学校教育との連携をとり自発的活動に対するサポートを行っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各団体が事業を計画するに当たって区の金銭的・人的補助が前提で事業を考えている。区の考える方向と団体の意思との調整と文化・交流課および文化・交流協会とより密接に連絡をとる必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	総合文化祭は、多くの区民が文化芸術に親しめる場として発展させていく。ユネスコ活動については、団体が主体となった自発的な活動を推進していく中で連携を図りながら、より効果的な活動が展開できるよう支援を行っていく。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特別展・企画展の開催				整理番号	839		枝番号			
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		コード	601131		連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	862	
係名				上位施策名				No				
予算事業名				郷土博物館運営管理		コード	82340		文化・芸術活動の推進		65	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 元 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 博物館法							
	一般区民				(2) 杉並区郷土博物館条例							
					(3) 杉並区郷土博物館条例規則							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）								
年3回、各回1～2ヶ月程度、郷土に係る内容の展示を行う。資料収集や調査を行い、展示期間中に講演会や講座などの関連行事を行う。				展示をとおして区民が郷土の歴史文化への興味を抱ききっかけを提供する。郷土の歴史文化面の研究を進める。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 展示開催日数				(1) 展示期間中入館者数								
(2) 図録作成数				(2) (代) 館での図録配布数								
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)		日	80	120	80	71	80				
	活動指標(2)		点	1	2	2	2	2				
	成果指標(1)		人	5,473	7,130	5,000	3,826	5,000				
	成果指標(2)		冊	1,045	2,274	1,000	914	1,000				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,967	7,846	7,846	5,300	7,966	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	1,613	3,650	3,650	1,646	3,450				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.80 1.50	1.93 1.50	1.50 1.20	1.61 0.75	1.50 1.05				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	16,349	17,358	13,650	14,651	13,650				
		非常勤職員分	千円	4,403	4,139	3,456	2,160	3,024				
	総事業費 ++		千円	25,719	29,343	24,952	22,111	24,640				
	単位あたりコスト ÷		円	321,488	244,525	311,900	311,423	308,000				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	25,719	29,343	24,952	22,111	24,640					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	88.8	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	67.6	通常企画展2回、特別展1回開催のところ、夏季に館外収蔵庫の移転作業が入ったため、夏季企画展が開催できず、活動指標成果指標ともに大幅な減少となった。予算執行率が低く抑えられたのもこのためである。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成元年の開館当初より、年間2～4回程度の企画展・特別展を開催している。平成11年度より準常設展として「杉並文学館」を開始。企画展・特別展の合間に開催している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	展示に関しては概ね好評を得ている。今後の充実に対する期待として、講座等に比べ、企画展・特別展に対するものが多い。苦情は年々減少傾向にある。
	今後の予測	多様な質問内容に応え、要望を満たすためにも、職員により専門的知識が必要である。特に、地域博物館として区の歴史に詳しい人物を欠かすことができない。人材育成、専門職員の採用方法が課題となる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 展示や関連行事をとおり、郷土の歴史文化に触れる機会を提供している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 費用の問題よりも人材配置面での問題がある。専門性ある職員の配置によって現在の事業費でも成果をある程度向上させることは可能である。 理由または具体的内容: 専門職員の配置
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 公立博物館設立の趣旨からすれば、区民自らが区の歴史を理解し、明日の杉並を考える場として、誰もが施設を利用できるように、特別展・企画展の観覧料を別途徴収せず、通常の観覧料のみとする現状は妥当である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在でも最低限の費用で展示会を開催している。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	理由: 可能なものは委託している。 理由または具体的内容: 展示パネル作成、宣伝用横断幕作成、ポスターなど印刷物の作成等、可能なものは各種業者に委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み これまでどおり、展示会の内容、調査研究の部分については館職員が中心となっており、展示会を形作る上で必要な作業に関しては各種業者に委託する形が最も望ましい。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後も博物館設立の趣旨に照らし、展示をとおりして区民が郷土の歴史を理解し、明日の杉並を考える場の提供を行っていく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 専門職員の採用を要求しているが、実現にいたっていない。充実した博物館活動の運営には、高度な知識、技術、意欲を持つ学芸員の存在が必要不可欠である。今後も引き続き必要性を訴えていく。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 これまで同様、同規模の事業展開を継続していく予定である。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		講座・教室の開催等				整理番号	840		枝番号					
担当部課名		教育委員会事務局郷土博物館		コード	601131		連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	863			
係名				上位施策名				No						
予算事業名				郷土博物館維持管理		コード	82900		文化・芸術活動の推進		65			
事業開始年度				○昭和 ●平成 元 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 博物館法								
一般区民						(2) 杉並区郷土博物館条例								
一般区民						(3) 杉並区郷土博物館条例規則								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				郷土史講座(2回) 古文書講座(全4回) 親子体験教室(3回) 大宮前囃子実演(1回) 年中行事(端午節句、七夕、月見、餅つき、節分、雛祭り) 子ども博物館教室(通年11回 小学4年生以上)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 各種の講座、教室等を開催し、展示とは異なる形で郷土の歴史文化を理解する場を提供する。								
活動指標名(式)				(1) 開催件数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
								(1) 参加者数						
								(2)						
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
							計画		実績					
指標	活動指標(1)		件	29		28		29		28		29		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		人	761		774		700		1,193		800		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	505		527		901		895		1,181	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0		
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.20	1.50	1.29	1.50	1.00	1.20	1.07	0.75	1.00		1.05
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	10,900		11,602		9,100		9,737			9,100
		非常勤職員分		千円	4,403		4,139		3,456		2,160			3,024
	総事業費 + +		千円	15,808		16,268		13,457		12,792		13,305		
	単位あたりコスト ÷		円	545,103		581,000		464,034		456,857		458,793		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			0
差引:一般財源 -		千円	15,808		16,268		13,457		12,792		13,305			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%		96.6		活動指標(2)の16年度達成率%				16年度予算執行率%	99.3		
			著名な人物に講師を依頼するなど、限られた予算の中で質の高い講座等を開催できた。親子体験教室が予算上年4回開催のところ3回にとどまった。これは、他事業とのスケジュール調整が困難であったことが主な原因である。親子体験教室は例年夏休み期間に行うことが多く、この期間に展示及び実習生の受け入れ、子ども教室など他の多くの事業も集中する。新任教諭らの研修受け入れ等、年々新規事業がこの時期に増加している現状から、今後年間の事業計画を見直すことが必要である。											
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			予算は特についていないが、17年度より学校との連携強化のために、小中学校の新任教諭をボランティア研修として本格的に受け入れていく予定である。											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度より、教育改革アクションプランの一環として親子体験教室を開催。他事業は開館当初より行っている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	講座参加者からは満足とのアンケート結果を得ている。
	今後の予測	子どもを対象とした講座は定員割れ、大人を対象とするものは応募多数により抽選もしくは満員御礼の傾向にある。より多くの市民に参加いただけるよう、開催講座内容を工夫し充実させていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 講座・教室・伝統芸能実演の実施は文化・芸術活動そのものである。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 著名な人物を講師として招くにはそれなりの費用が必要である。不足の分は職員が自らあたることになるが、学芸員数の限られた職場において、展示や資料収集、調査等を担当しつつ割ける時間やできることは限られている。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 現在古文書講座は教材代を負担している。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 講師謝礼は少額で受けてくださる方を探し、頼み込んでやっと受けていただいている状態。年中行事や講座の材料、道具の多くを職員が手作りしており、これ以上のコスト削減は難しい。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 餅つきは自治会、他委員会とともに開催。外部に多くの講師を依頼 大学実習生、小学校教員らが事業に参加した。 理由または具体的内容: 上記記載済
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 博物館事業には常に指導が伴い、取り扱うものも貴重なものが多いため、職員や知識を有する学芸員の下に、区民が参加をする現在のあり方が理想的姿である。指導を行える職員、学芸員の確保、充実が今後より強く望まれる。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 博物館事業には常に指導が伴い、取り扱うものも貴重なものが多いため、職員や知識を有する学芸員の下に区民が参加をするあり方かつ効率的な方法を検討し、今後の講座開催に生かしていく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 望ましい事業展開には専門学芸員の配置が不可欠である。必要性を今後も強く訴えていく。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 これまでと同様、同規模の事業を継続の予定。